

「日本全国 唄 仲間」



博多屋・本店

第24章

肩に冷たい、雨しずくー♪、へ

2012年 4月4日は念願だった私の母、博多屋・本店keiの夢だった歌手デビューが叶った日である。母は、幼いころから歌手の夢をみていたが、経済苦、家庭不和で学校も学費免除で必死に勉強した青春時代、それから約40年間ただひたすら、歌手になる夢を見て、昨年、夢が叶った。

どうか、いつまでも、元気で歌ってほしい…

長男 久輝 ひさき

夕焼けを背負って帰る

ふたりではんぶんづつ

博多屋・本店「kei」のマネージャー？ たけしです。みなさんから、「パパさん」と呼ばれています。

Keiさんと私は、小さい頃から歌手になるのが夢でした。

そんな中、子育ても、一息つけそうになったある日、博多屋・本店、新メンバー募集を見つけて、二人で応募したところ、keiさんは、「合格」私は、惜しくも「不合格」でした。しかし、「太陽は、沈む時が、美しい」と、いわれています。二人で、歌によりそい、楽しく、美しく沈んで行きたい。

たけし

昨年、歌手をめざして、東京に上京して、歌っている娘、『まじか』です。4月30日で、20歳です。

大好きなパパと子供たち、いつ・もの・よう・にスクラム組んで、

わたしは、ガ・ン・パ・ル

座右の銘は、『冬は、必ず春となる』